

令和3年度 草の根・人間の安全保障無償資金協力
「アルマヴィル市廃棄物管理能力向上・リサイクル推進計画」及び
「メッツ・パルニ村立学校衛生設備及び上下水道設備整備計画」署名式の実施

令和3年12月2日、草の根・人間の安全保障無償資金協力「アルマヴィル市廃棄物管理能力向上・リサイクル推進計画」（贈与限度額：82,603米ドル(8,921,124円)）及び「メッツ・パルニ村立学校衛生設備及び上下水道設備整備計画」（贈与限度額：68,059米ドル(7,350,372円)）に対する署名式が、アルメニア地域行政・インフラ省において開催されました。本式典では、福島正則在アルメニア日本国大使館とムヒタル・アヴェティシヤン持続可能な開発コミュニティのための革新的解決 NGO 代表、及びアレヴィク・ホヴセピャン・アルメニア水パートナーシップ科学・生態系 NGO 代表との間でそれぞれ贈与契約への署名が行われ、ヴァチュエ・テルテリヤン地域行政・インフラ省次官等が出席しました。

「アルマヴィル市廃棄物管理能力向上・リサイクル推進計画」は、アルマヴィル市及び近隣地域に220基のリサイクル用ゴミ箱、リサイクルしたプラスチック素材から文房具を製造するための機械及びそのための金属型を整備することにより、同地域の廃棄物管理システムを向上させることを目的としています。さらに、回収した廃棄物は文房具に再利用され、それらの一部は同地域の小学1年生の児童らに無償で提供されることで、合計35,000人以上が裨益する見込みです。

「メッツ・パルニ村立学校衛生設備及び上下水道設備整備計画」は、ロリ州メッツ・パルニ村立学校の既存トイレの改修及び上下水道設備を整備することにより、学校衛生環境の改善を図り、もって同地域の教育環境の向上に寄与することを目的としています。これにより、メッツ・パルニ村立学校において衛生環境が整ったトイレの使用が可能となり、生徒・教職員合わせて約240人が裨益する見込みです。

式典冒頭、テルテリヤン次官は、長年にわたる日本とアルメニアの友好関係と日本政府からの支援に対し謝意を述べ、アルメニアにおける廃棄物管理への取組の重要性を強調しました。

これに対し福島大使は、今後新たに署名する両案件の実施を通して、日・アルメニア関係が一層強化され、両国の友好関係の深化に繋がることへの期待を示しました。

アヴェティシヤン代表は、日本政府への感謝を表し、同氏がJICA研修員として日本で廃棄物処理について学んだ経験を活かすことで、今後アルマヴィル市及びその他の地域において日本の廃棄物処理技術が導入されることへの期待を示しました。また、ホヴセピャン代表も日本政府への謝意を表した上で、本計画の成功をもって、衛生環境の改善が喫緊の課題である他の地域においても、今後同様のプロジェクトを展開していく計画であると述べました。



テルテリャン次官によるスピーチ



福島大使によるスピーチ



贈与契約に署名する福島大使と
アヴェティシヤン代表



贈与契約書を交換する福島大使と
ホヴセピヤン代表